

横浜市はアフリカの廃棄物管理向上へ協力します！ 「アフリカのきれいな街プラットフォーム」が設立されました

4月25日から27日、モザンビーク・マプト市で、環境省及びJICA等が開催した会合において、「アフリカのきれいな街プラットフォーム」が設立されました。

横浜市からは資源循環局長が出席してスピーチを行い、今後プラットフォームを通じて、アフリカ各国・都市の関係者を対象に、横浜市における廃棄物管理の経験や技術を紹介する研修を実施することを表明しました。

また、マプト市やエチオピア・アディスアベバ市の関係者と面会し、今後の横浜市との連携の可能性について意見交換を行いました。

横浜市は、こうした取組を進め、平成31年に日本で開催予定の第7回アフリカ開発会議(TICADVII)の横浜誘致につなげていきます。

1 会合について

(1) プラットフォームの設立

4月27日(木)、プラットフォームの設立等を行うマプト宣言が行われるとともに、伊藤環境副大臣が、

- ・アフリカ各国に対するプラットフォームへの支持と参加の訴え
- ・アフリカ各国の取組を支援する日本政府の強い決意
- ・日本で開催される TICADVII での成果発表への期待

を表明しました。



会合参加者

(2) 横浜市スピーチ概要

横浜市は、4月26日(水)午前、尾仲資源循環局長がスピーチを行い、これまでG30や3R夢プランで培ってきた廃棄物管理の経験等を紹介するとともに、今後プラットフォームを通じた

- ・実践的な研修の提供
 - ・行政と事業者が一体となった支援
 - ・さまざまな環境問題も考慮した総合的なアプローチ
- により、アフリカの廃棄物管理向上に協力していくことを表明しました。



資源循環局長のスピーチ

※ 会合の主な内容については裏面をご覧ください。

2 アフリカの都市との意見交換について

会合に参加した都市との間で、廃棄物管理分野での連携の可能性について、意見交換を行いました。

【意見交換した都市】

- ・モザンビーク マプト市
- ・エチオピア アディスアベバ市



マプト市との面会

お問合せ先

(スピーチ及び会合に関する事) 資源循環局政策調整課担当課長 水谷 努	Tel 045-671-4565
(アフリカとの連携に関する事) 国際局国際連携課長 富岡 典夫	Tel 045-671-4704

※ 本件は、環境省、JICAと同時発表しています。

【参考】会合の主な内容

1 会合出席者

アフリカ24か国の国（※）・都市の廃棄物担当局長等
環境省
国際協力機構(JICA)
国連環境計画(UNEP)
国連人間居住計画(UN-HABITAT)
横浜市
本邦企業

※ボツワナ、ブルキナファソ、カメルーン、コートジボワール、コンゴ民主共和国、ジブチ、エジプト、エチオピア、ガーナ、ケニア、マダガスカル、モロッコ、マラウイ、モザンビーク、ナミビア、ニジェール、ナイジェリア、コンゴ共和国、セネガル、南スーダン、スーダン、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエ

2 主な会合内容

25日(火)	・「マプト市における持続可能な3R活動推進プロジェクト」(JICA 支援)の成果発表と議論
26日(水)	・アフリカの廃棄物課題を再整理し、共有するワークショップ ・横浜市スピーチ ・プラットフォームの目的と活動提案に対する全参加者からの期待・貢献の表明
27日(木)	・プラットフォーム設立式 「マプト宣言」により、プラットフォームが設立